



東京医学会第288回特別学術講演会  
(第2834回集会)

加 齢 医 学 講 座  
老年病学、老化制御学担当 秋下 雅弘 君

講演日：令和6年3月11日(月)

時 間：15時30分～17時30分

場 所：医学部教育研究棟 鉄門記念講堂

## 講演

### その先の老年医学へ

このたび東京大学大学院医学系研究科教授 秋下雅弘先生は、令和6年3月末日をもちまして退任されることとなりました。

先生は昭和60年に東京大学医学部医学科を卒業され、内科研修の後、東京大学老年病学教室に入局されました。平成6年に老人科助手になられ、平成8年より米国スタンフォード大学、続いてハーバード大学に研究員として留学されました。帰国後、杏林大学高齢医学助教授、東京大学大学院准教授を経て、平成25年に老年病学分野教授に就任されました。以降、平成26年より老化制御学分野、高齢社会総合研究機構、令和5年より保健・健康推進本部長、医学部研究倫理支援室長を兼務しておられます。臨床、教育、研究の多方面で教室の発展に大きく貢献されるとともに、東京大学医学部附属病院では副院長、総合研修センター長、PRセンター長、内科部門長を歴任し、病院の運営に尽力されました。また、日本老年医学会理事長、日本老年薬学会代表理事、日本性差医学・医療学会理事長、日本動脈硬化学会理事、日本女性医学学会理事など多くの学会役員を歴任して学術活動を推進し、特に高齢者の医薬品適正使用については第一人者として指針や提言を通じた社会啓発に努め、未曾有の超高齢社会となった日本における高齢者医療と老年医学の発展に寄与するべく、精力的に活動を続けておられます。

つきましては、最終講義として、その長年にわたるご造詣の一端を拝聴する機会を設けましたので、皆様のご臨席を賜りますようご案内申し上げます。

令和6年1月

一般財団法人東京医学会